

「舞台芸術の鑑賞に関するインターネットアンケート」及び「子ども向けバレエ公演に関するアンケート」を実施しました

横浜市は、本格的な舞台芸術を上演できる新たな劇場の整備を検討しています。新たな劇場は、トップレベルの公演を楽しめるとともに、舞台芸術の活性化や次世代の育成にも貢献します。

このたび、「舞台芸術の鑑賞に関するインターネットアンケート」及び「子ども向けバレエの公演に関するアンケート」を実施しましたので、報告します。

それぞれの調査の結果（詳細）については、横浜市のホームページをご覧ください。
<URL>



<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/gekijyou/gekijyoseibinokentou.html#r2joukyou>

1 舞台芸術の鑑賞に関するインターネットアンケートについて

舞台芸術の鑑賞頻度や分野、鑑賞前後の行動などについて、インターネットによるアンケートを実施しました。（国内回収数：9,031票、対象：16歳から79歳の男女、実施期間：令和3年2月5日～9日 ※全国の人口構成に合わせたウェイト集計）

本調査の結果（詳細）については、横浜市のホームページをご覧ください。

インターネットアンケート結果概要

【1】舞台芸術への関心、鑑賞頻度

- ・舞台芸術に高い関心を持っている人は、全体の約2割（全国17.6%、横浜市21.2%）
- ・鑑賞経験がある人は、6-7割程度（全国64.3%、横浜市72.0%）
- ・鑑賞経験がある人のうち半数以上は「まれに鑑賞する」程度で、一定の頻度で鑑賞する人は約3割

【2】舞台芸術に関わる移動

- ・舞台芸術を鑑賞するために都道府県外に移動する人は、首都圏近郊で6-7割程度（神奈川県（横浜市を除く）61.3%、横浜市62.6%）。東京都は約1割と少ない。

【3】舞台芸術に興味を持った時期と鑑賞経験

- ・幼少期や中学校の頃までに舞台芸術に興味をもった人は、各鑑賞分野での鑑賞率が高い。
- ・全年齢層の中で、特に、幼少期に興味を持った人の鑑賞率が高い分野は、「バレエ」「オペラ」「舞踊・ダンス」となっている。

【4】横浜での舞台芸術鑑賞の実態

- ・横浜で鑑賞した人のうち、約8割は鑑賞以外に飲食など何かしらの行動をしている。
- ・横浜以外から鑑賞に訪れた人のうち約1割が横浜市内に宿泊している。

【5】2020年のオンライン鑑賞の実態

- ・オフラインでの鑑賞頻度が減った人が約5割となった一方で、オンラインでの鑑賞が増えた人は約4割
- ・オンライン鑑賞の経験者で、今後もオンライン鑑賞を希望する人は、約7割

2 子ども向けバレエ公演に関するアンケートについて

市立小学校4年生が参加した「心の教育バレエの世界（アンケート実施日：令和3年1月19日、20日、21日、25日、回収数：児童1,454票、教員70票）」と、主に4歳以上の親子が参加した「子どものためのバレエ公演（アンケート実施日：令和3年1月23日、24日、回収数：791票）」について、鑑賞した子ども、保護者、教職員に自記入式アンケートを実施しました。

また、教職員にグループインタビュー（参加者数：7人）を行いました。

アンケート結果概要

【1】バレエへの関心

鑑賞した子どものうち9割が、「楽しかった」、「また見たい」と回答

【2】意識の変化

- ・「心の教育バレエの世界」鑑賞後に感じたこととして多く選択された項目は、「おどりの技がすごいと思った」が約8割、「バレエが好きになった」が約5割に次いで、「今の習い事や趣味をもっとがんばりたい」が約4割。このことからチャレンジ意欲への刺激にもなったことが分かる。
- ・自由意見を分析したところ、「バレエをやっている人はすごい」、「体が柔らかい」、「筋肉がすごい」など、バレエを踊っている人への感想が多く含まれていた。「楽しい」、「すごい」という感想だけではなく、踊り手の技術や舞台上で披露するにあたっての努力など、様々な面から関心を持ったことが分かる。

【3】教員が感じた児童の変化

児童がコミュニケーションや表現を積極的に行うことへの意識に影響がみられたなどのコメントがあった。

※次世代育成動画の配信について

次世代育成として実施している「心の教育バレエの世界」及び「子どものためのバレエ公演」を紹介する短編ドキュメンタリーを制作しました。横浜市のホームページに公開していますので、ぜひご覧ください。

<URL>

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/gekijyou/douga.html#donquixote>



お問合せ先

1 に関して	政策局劇場計画課長	相馬 美輝	Tel 045-671-4196
2 に関して	政策局芸術創造課担当課長	白石 亜紀子	Tel 045-671-3203

1 舞台芸術の鑑賞に関するインターネットアンケート結果概要

※ n は設問の回答の対象者数

【1】舞台芸術への関心、鑑賞頻度

▶舞台芸術への関心程度

・舞台芸術に高い関心を持っている人は、全体の約2割（全国17.6%、横浜市21.2%）



■とても関心がある ■関心がある □まあ関心がある ■どちらともいえない ■あまり関心がない ■関心がない ■まったく関心がない

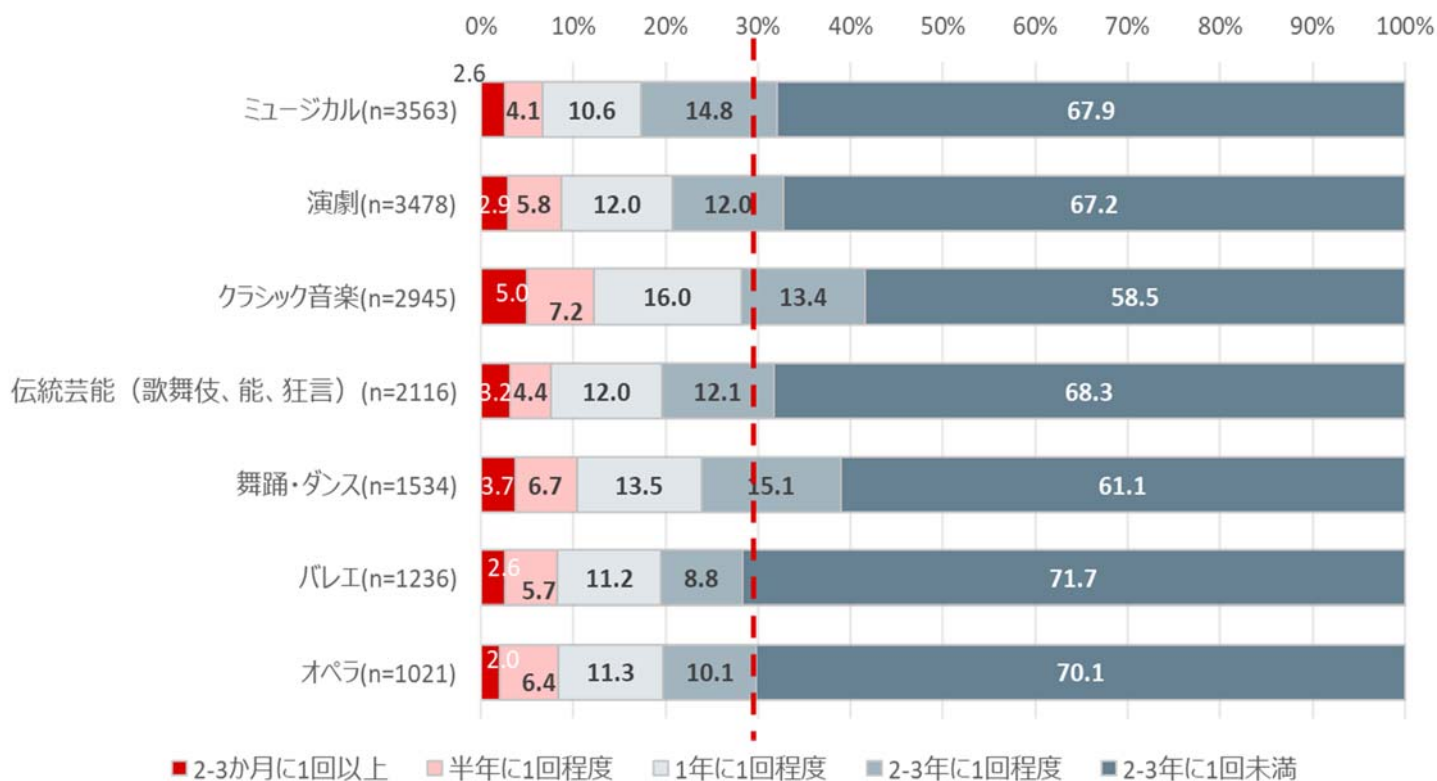
▶舞台芸術の鑑賞率

・鑑賞経験がある人は、6-7割程度（全国64.3%、横浜市72.0%）

	n数	バレエ	オペラ	クラシック音楽	舞踊・ダンス	伝統芸能(歌舞伎、能、狂言)	ミュージカル	演劇	あてはまるものはない	鑑賞経験率
全国	9031	13.7	11.3	32.6	17.0	23.4	39.5	38.5	35.7	64.3
横浜市	271	18.7	15.0	39.6	17.7	30.7	45.9	43.3	28.0	72.0
神奈川県(横浜市除く)	392	18.0	13.8	35.9	16.6	30.4	43.6	43.9	30.2	69.8
東京都	986	23.4	18.2	42.7	22.3	31.8	52.0	47.8	23.3	76.7
埼玉県・千葉県	981	14.2	12.9	33.3	15.2	28.0	42.1	41.5	32.9	67.1
山梨県・静岡県	320	9.4	8.6	28.1	13.4	21.0	35.0	37.9	39.2	60.8
北関東(栃木,茨城,群馬)	489	10.9	8.4	30.5	15.8	20.6	36.0	34.3	40.9	59.1
北海道エリア	387	15.0	7.6	32.3	15.7	16.0	42.1	38.1	38.0	62.0
東北エリア	628	12.0	12.2	32.0	19.4	23.3	34.9	41.5	35.6	64.4
中部エリア	949	12.4	10.1	30.7	15.9	20.7	39.8	35.4	39.5	60.5
北陸エリア	371	10.2	9.0	32.3	16.7	22.7	28.9	36.8	41.4	58.6
近畿エリア	1477	12.1	10.0	31.5	17.9	24.4	40.7	37.3	34.0	66.0
中国・四国エリア	780	7.6	9.4	28.5	12.2	19.3	28.7	30.7	46.8	53.2
九州・沖縄エリア	999	13.4	9.5	28.6	17.8	15.8	36.3	35.1	38.1	61.7

▶分野別鑑賞頻度

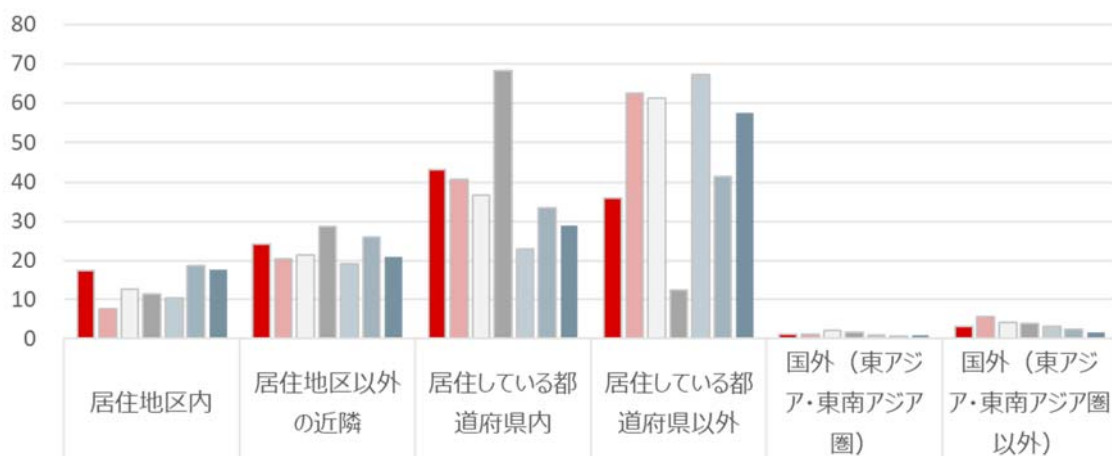
- 鑑賞経験がある人のうち半数以上は「まれに鑑賞する」程度で、一定の頻度で鑑賞する人は約3割



【2】舞台芸術に関わる移動

▶エリア別 舞台芸術鑑賞場所 (鑑賞経験者)

- 舞台芸術を鑑賞するために都道府県外に移動する人は、首都圏近郊で6-7割程度 (神奈川県 (横浜市を除く) 61.3%、横浜市 62.6%)。東京都は約1割と少ない。



	居住地区内	居住地区以外の近隣	居住している都道府県内	居住している都道府県以外	国外 (東アジア・東南アジア圏)	国外 (東アジア・東南アジア圏以外)
■ 全国	17.3	24.2	43.1	35.9	1.1	3.1
■ 横浜市	7.6	20.5	40.7	62.6	1.0	5.5
□ 神奈川県 (横浜市除く)	12.5	21.4	36.7	61.3	2.0	4.2
■ 東京都	11.4	28.7	68.2	12.3	1.7	3.9
■ 埼玉県・千葉県	10.2	19.3	23.1	67.3	0.9	3.2
■ 山梨県・静岡県	18.7	25.9	33.5	41.4	0.5	2.3
■ 北関東 (栃木、茨城、群馬)	17.4	21.1	29.0	57.5	0.8	1.6

【3】舞台芸術に興味を持った時期と鑑賞経験

▶舞台芸術に興味をもった具体時期別分野鑑賞率

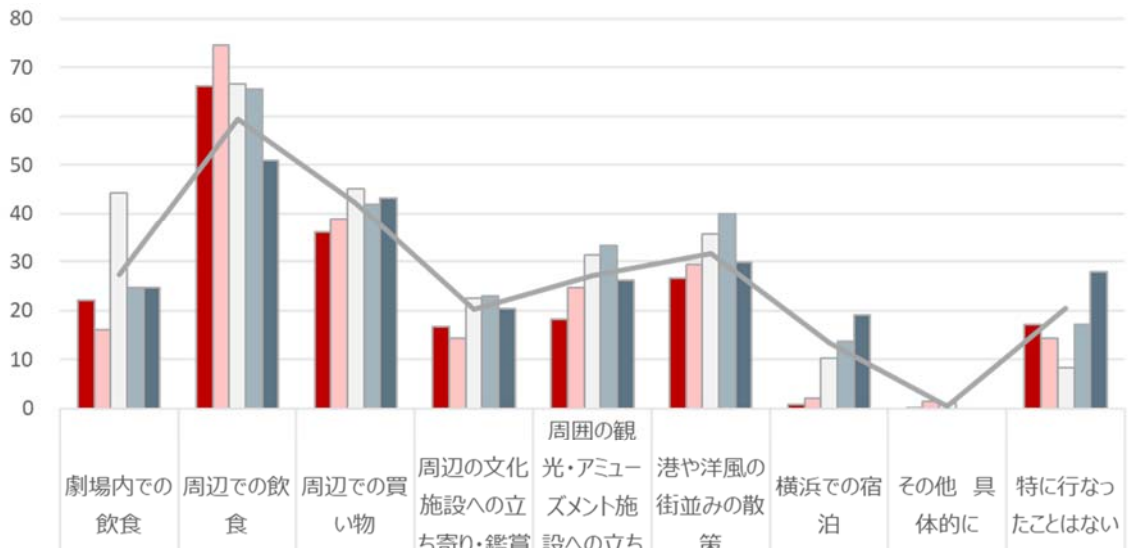
- ・幼少期や中学校の頃までに舞台芸術に興味をもった人は、各鑑賞分野での鑑賞率が高い。
- ・全年齢層の中で、特に、幼少期に興味を持った人の鑑賞率が高い分野は、「バレエ」「オペラ」「舞踊・ダンス」となっている。

	n数	バレエ	オペラ	クラシック音楽	舞踊・ダンス	伝統芸能 (歌舞伎、能、狂言)	ミュージカル	演劇	あてはまるものはない
全体	3213	27.7	23.3	56.4	33.2	41.7	65.5	63.9	6.2
幼少期	247	55.1	32.7	68.7	53.0	47.5	67.1	63.3	2.8
小学校から中学校 在学の頃	863	29.0	27.0	66.9	39.1	47.5	73.0	68.4	3.6
高校在学の頃	393	23.8	26.7	59.7	32.6	46.1	70.5	69.1	5.4
高校卒業以降	313	27.9	24.7	55.6	34.8	39.8	68.3	63.5	5.1
社会人になってから	1206	22.4	19.3	48.5	26.1	37.6	60.1	61.2	8.1
覚えていない	191	26.8	9.2	38.1	24.8	27.8	49.0	51.4	13.2

【4】横浜での舞台芸術鑑賞の実態

▶エリア別 横浜での舞台芸術鑑賞時に実施したこと（横浜での鑑賞経験者）

- ・横浜で鑑賞した人のうち、約8割は鑑賞以外に飲食など何かしらの行動をしている。
- ・横浜以外から鑑賞に訪れた人のうち約1割が横浜市内に宿泊している。

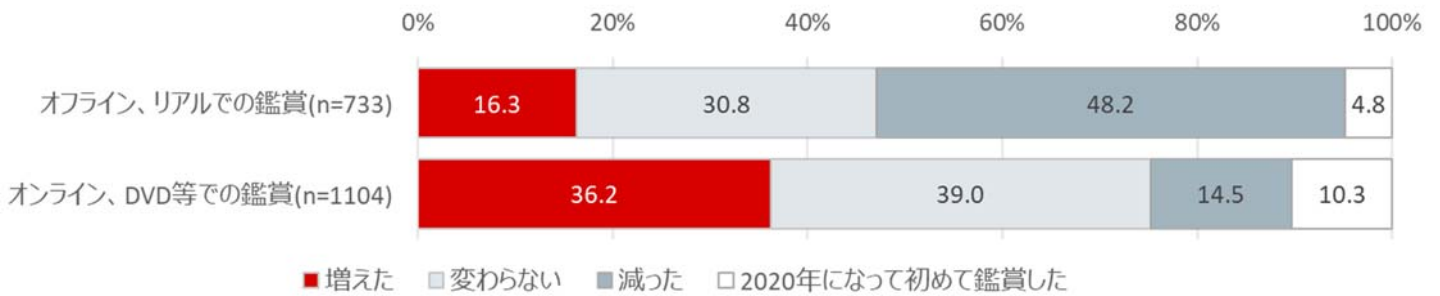


裏を返せば、約8割の人が何かしらの行動をしている。

【5】2020年のオンライン鑑賞の実態

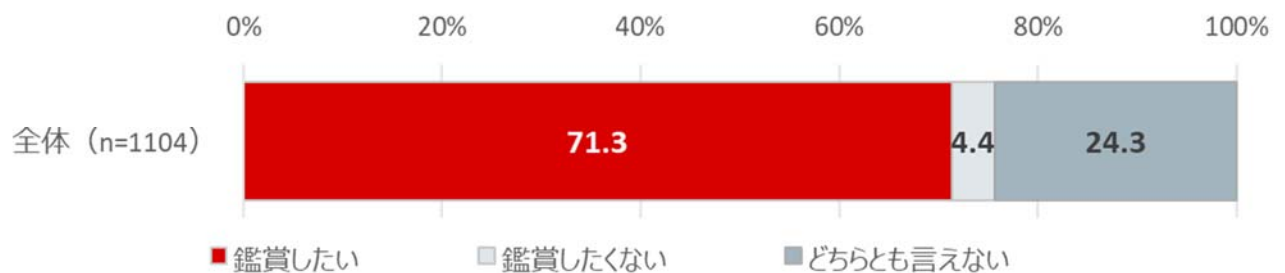
▶2020年の舞台芸術鑑賞実態（舞台鑑賞経験者）

- ・オフラインでの鑑賞頻度が減った人が約5割となった一方で、オンラインでの鑑賞が増えた人は約4割



▶今後のオンライン鑑賞に関する意向（オンライン鑑賞経験者全体）

- ・オンライン鑑賞の経験者で、今後もオンライン鑑賞を希望する人は、約7割



2 子ども向けバレエ公演に関するアンケート結果概要

※ nは設問の回答の対象者数

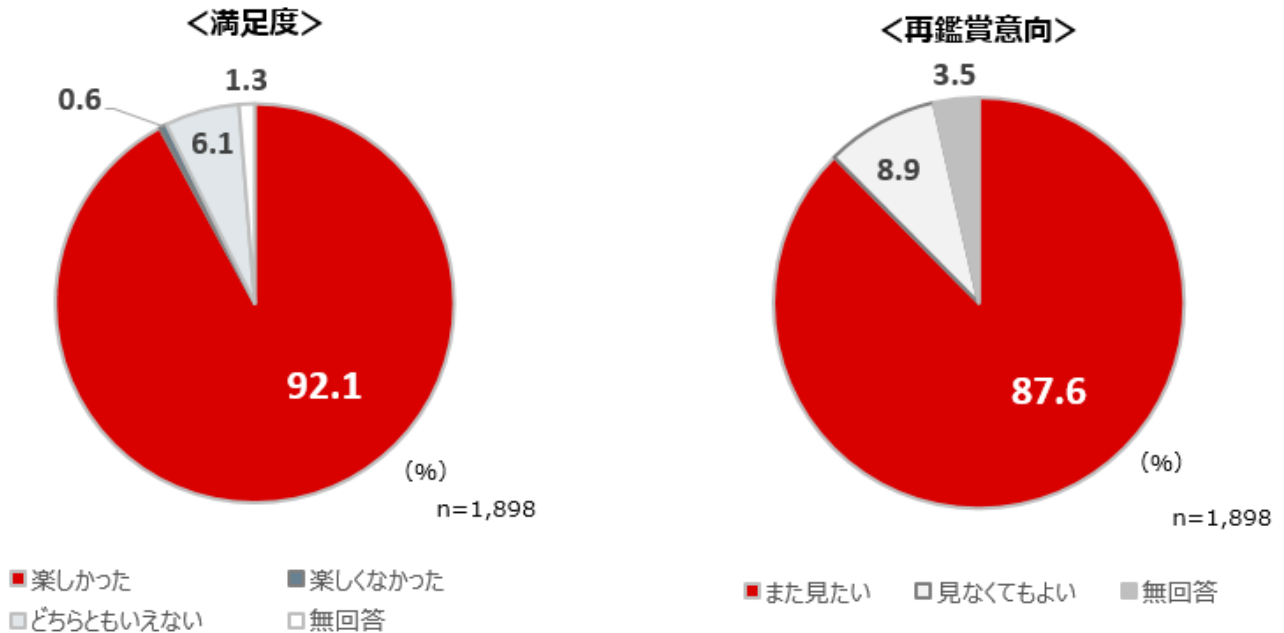
※調査対象：学校バレエ調査…市立小学校4年生が参加した「心の教育バレエの世界」

親子バレエ調査…主に4歳以上の親子が参加した「子どものためのバレエ公演」

【1】バレエへの関心

▶鑑賞後の満足度と再鑑賞意向

- ・鑑賞した子どものうち9割が、「楽しかった」、「また見たい」と回答

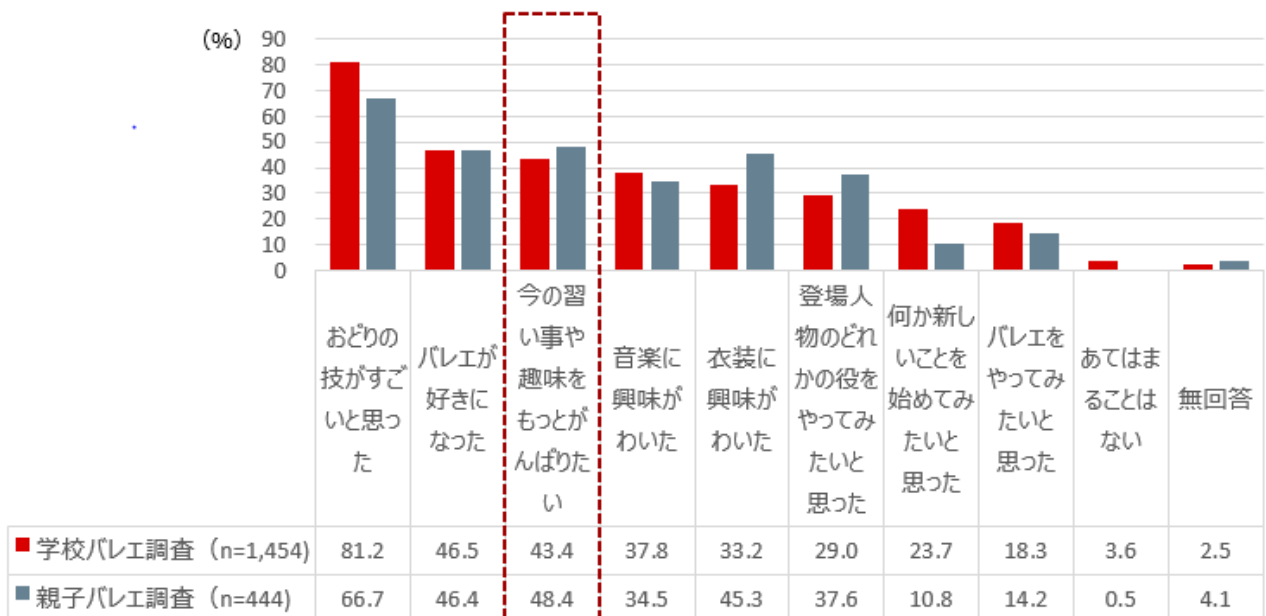


※ベース：学校バレエ調査（児童）（1,454票）、親子バレエ調査（子ども）（444票）の合計

【2】意識の変化

▶バレエ鑑賞後に感じたこと

- ・学校バレエ鑑賞後に感じたこととして多く選択された項目は、「おどりの技がすごいと思った」が約8割、「バレエが好きになった」が約5割に次いで、「今の習い事や趣味をもっとがんばりたい」が約4割。このことからチャレンジ意欲への刺激にもなったことが分かる。

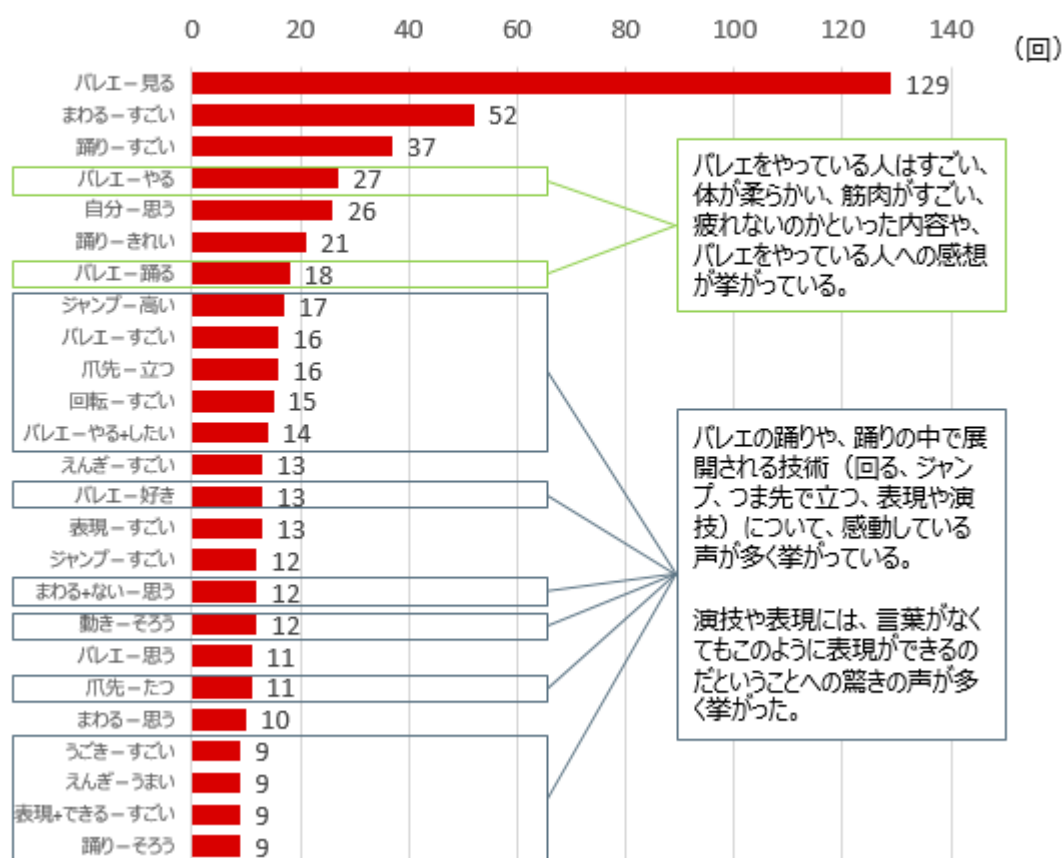


※ベース：学校バレエ調査（児童）（1,454票）、親子バレエ調査（子ども）（444票）

▶児童の自由意見

- 自由意見を分析したところ、「バレエをやっている人はすごい」、「体が柔らかい」、「筋肉がすごい」など、バレエを踊っている人への感想が多く含まれていた。「楽しい」、「すごい」という感想だけではなく、踊り手の技術や舞台上で披露するにあたっての努力など、様々な面から関心を持ったことが分かる。

<記述の多かった文章構造（係り受け頻度）>



※この分析は、学校バレエの児童アンケート結果（1,454票）に加え、10月、11月に開催した学校バレエにおける児童アンケートの自由意見内容（170票）を加えて行っている。

【3】教員が感じた児童の変化

▶教員の自由意見及びインタビュー

- 児童がコミュニケーションや表現を積極的に行うことへの意識に影響がみられたなどのコメントがあった。

(主なコメント)

- ちょうど斜め前に座っている子が、いつもとてもおとなしい子。事前学習で「自分が良いと思ったところで自由に手を叩いていいんだよ」と伝えていたのだが、わりとずっと手を叩いていた。
- 子どもの中には表現することに恥ずかしさを持たず、当日劇場の待合で真似をしている子もいた。家でも回ったり、「きれいだった」と話す子どももいて、楽しかった雰囲気を保護者の方も感じることができた。
- 観劇後は同じクラスのパレエを習っている子に、バレエについての質問やどうやってやるの?という会話が増えた。基本的な立ち方などを実際に見せることで「すごい、すごい、できない」のようなコミュニケーションも出てきた。バレエを通して積み重ねる努力のすごさを感じているようである。

※ベース：学校バレエ調査（教員）自由意見（70票）及び、学校バレエインタビュー調査（7票）